

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年2月15日

事業所名 障害児学童保育所あみ

保護者等数(児童数)17

回収数16

割合94 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	6		1階・2階に分かれて為スペースが確保されているとは思わない	現在は子供の特性を考慮1階と2階に分かれて活動しているが将来的には全員が2階ですごせる様に支援していきます。その為のスペースは十分あります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	3			
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	4	4		建物の構造上難しい(借家)が対象児童が出たら検討する必要があります。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	16				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	16				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	6	1		公園で地域の子供たちと一緒に遊ぶ機会があります。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	1			
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	1			
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	11	3	コロナ禍で難しいと思うが開催され場合は参加したい	現在コロナ禍で開催は難しいですが通信等で子供同士の豊かな関わりを支援して伝えることで保護者同士も安心できるようにつとめています。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	4			
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	1			
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	1			
14 個人情報に十分注意しているか	15	1				
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	7			
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	11			
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	15	1			
	18 事業所の支援に満足しているか	15	1			

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 2 月 15 日

事業所名 障害児学童保育所あみ

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		現在は子供の特性を考え1階と2階に分かれて活動しているが将来的には全員が2階で過ごせる様に支援していきます。その為のスペースは十分あります。
	2	職員の配置数は適切である	○		職員数は規定に達しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	建物の構造上難しい(借家)が対象児童が利用するようになったら検討が必要です。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○	1人ひとりについて全スタッフが参加出来ていない部分があります。来年度はそれができる仕組みを計画したいと思います。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○	ひとりひとりの意向についてスタッフ全体で共有し、どう改善につなげて行けるのか検討する機会を持てるようにしたいと思います。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	客観的な実践評価は必要と考えます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修の機会はあるが参加者が限定されている。全員参加できるようにしたいと思います。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントが十分に出来ているかについてはまだ足りない部分があると思います。子ども、保護者の願いや課題を共有しあい、さらにスタッフ間で検討していく仕組みを作りたいと思います。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	今後検討します。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている		○	行えていない活動計画検討会等の仕組みを作りたいと思います。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		色々な活動は取り入れているが、子どもによってはなかなか広げられない子どもがいてスタッフ会議で色々な視点からの模索が必要と考えます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		ざっくりとしか出来ていない。一人一人についてもう少し丁寧に願いを引き出し活動につなげられるか検討する必要があります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個と集団と意識はしつつ活動設定しているがどうしても”仲間”という視点での活動が難しいケースがあり模索が必要です。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		出来るだけ時間を取って共有を図るようにしているが、1日利用の時は時間が取れない時もある。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		○	記録の在り方についての共有が不十分な部分があるのでどんなことを大切に記録するのか共有し合う機会を持つ必要があると考えます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている		○	出来る子供もいれば、出来ない子供もいるので再検討が必要だと思います。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○	ハード面では連携、共有できているが、子どもの様子、行動、内面等ソフト面での連携、共有は全ての子ども達といわれると、コロナ禍もありなかなか出来ていない。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	対象者がいないので検討例がないが今後もしあれば必要と考えます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	直接連絡を取り合って情報共有ということは、コロナ禍もあり難しい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	今後検討します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	今後検討します。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		隣の公園等の遊びの中に地域の子子ども達を巻き込んで遊ぶことはある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	今後検討します。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	コロナ禍で保護社会活動も出来ていない。通信等により子供同士の豊かな関わり合いを支援し伝える事で保護者同士も安心できる様に努めています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情について対策整備等は行っているが、子どもや保護者へは再度周知したいと思います。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		
	35	個人情報に十分注意している	○		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	コロナ禍で難しいが今後検討したいと思います。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	今後検討し作成する計画です。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	火災訓練については2月～3月に予定しています。他の訓練についても検討していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	
	41	このような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	契約時、重要事項説明書に記載し、説明了解を頂いています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	対象者がいません。必要な場合は検討します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	毎月の月報のヒヤリハット欄に記入し会議等で共有しています。